



2022年1月31日

各位

上場会社名 株式会社クイック
代表者 代表取締役会長 和納 勉
(コード番号：4318 東証第一部)
問合せ先責任者 上席執行役員管理本部長兼経理部長
来島 健太
(TEL：06-6366-0919)

業績予想の修正および期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、2021年4月28日付「2021年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて発表いたしました2022年3月期通期連結業績予想を、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、2022年3月期の1株当たり期末配当予想について、下記のとおり修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2022年3月期通期連結業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(円 銭)
前回発表予想 (A)	21,400	2,486	2,500	1,706	90.56
今回修正予想 (B)	23,390	3,257	3,300	2,246	119.23
増減額 (B-A)	1,990	771	800	540	
増減率 (%)	9.3	31.0	32.0	31.7	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	19,360	1,866	2,123	1,463	77.69

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、「(ご参考)前期実績(2021年3月期)」に記載の各数値は、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

(2) 修正の理由

2022年3月期の当社グループを取り巻く環境につきましては、依然として新型コロナウイルスの感染拡大の終息時期の見通しが立たず、国内外ともに景気の先行きは不透明な状況です。こうした中、当社グループが強みを持つ医療・福祉分野をはじめ、建設分野や電機・機械、

製菓分野等の特定領域における人材採用ニーズは引き続き高く、また、2021年10月の緊急事態宣言解除を受けて、飲食業や販売業、サービス業等では、これまで抑制していた採用及び販促活動の再開に伴い、求人広告やプロモーション広告活用のニーズも回復してまいりました。

これに伴い、主力の人材サービス事業をはじめとする全ての事業セグメントが想定よりも順調に推移したことにより、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきまして、それぞれ前回発表予想を上回り過去最高を更新する見込みとなりました。

2. 配当予想の修正（増配）について

(1) 修正の内容

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期 末	年 間
前回予想 (2021年4月28日発表)	20円	20円	40円
今回予想	—	28円	48円
当期実績	20円	—	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	18円 (普通配当12円) (記念配当6円)	26円 (普通配当20円) (記念配当6円)	44円 (普通配当32円) (記念配当12円)

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と位置付け、財務体質の強化や今後の事業展開等を考慮した上で、親会社株主に帰属する当期純利益の40%を配当性向の目処とすることを基本方針としております。

今回発表の2022年3月期通期連結業績予想の修正のとおり、親会社株主に帰属する当期純利益予想を上方修正したことに伴い、普通配当の1株当たり期末配当予想につきましても、上記方針に基づき、2021年4月28日付「2021年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の予想から8円増額し、28円に修正することといたしました。

この結果、2022年3月期の年間配当金につきましては、既に実施済みの第2四半期末配当金と合わせ、1株当たり48円(第2四半期末20円、期末28円)と過去最高となる予定であります。

(注) 上記の業績予想等につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上